

労働負荷の定量化に関する研究

(大阪大学医学部附属病院倫理審査委員会： 承認番号 21048-3)

【研究期間】

※研究機関の長の許可日～ 2028 年 3 月 31 日

【研究目的】

放射線部門には、多種多様な診断装置が設置されており、装置毎あるいは診断内容毎に要求されるスキルが異なる。それを扱う診療放射線技師毎に保有しているスキルも異なる。我々は人材教育を考慮した勤務スケジュールの最適化モデルの構築、および計画支援システムの構築を目指して研究を行っている。我々はこれまでに、技師の能力に関する制約や技師の教育という点を考慮したスケジュールモデルを提案している。そのスケジュールモデルでは労働負荷をパラメータにして最適化を図っている。現在、このパラメータはシフトの種類ごとにすべての技師で、一様に定数で定めているが、各技師で労働負荷は異なる可能性がある。この労働負荷を、技師毎に定量化できれば、よりスケジュールモデルで労働負荷を減らして、勤務スケジュールを最適化できる。よって、本研究では労働負荷の定量化を行うことを目的とする。

【研究意義】

医用画像診断装置を扱う放射線部門のスタッフの人的資源量は限られている。そのため、最適な勤務配置スケジュール決定は容易ではない。近年の最新技術の導入により技師の労働負荷はあがっており、現場で最適な配置を求めることがより困難になっている。本研究で労働負荷を定量化することによって、各スタッフの労働負荷を低減しつつ、診断・手術・治療に質の高いサービスの提供を目指して、技師を最適に配置することが可能となる。

【対象・研究方法】

本院の放射線部門における診療放射線技師を対象に主観的メンタルワークロード評価手法を用いて、各技師の労働負荷を調査する。

【研究機関名】

大阪大学医学部附属病院（単施設）

【個人情報の取り扱い】

取得情報は匿名化を行い、これに関わる個人情報は、個人情報管理者によって厳重に管理されます。研究成果の発表時を含め、外部に公開されることは一切ありません。

【その他】

この研究に参加された方が、勤務配置等の異動等が不当に行われることは一切ありません。
また、本研究の参加は強制ではありませんので、自由に参加を辞退することができます。

【問い合わせ先】

当研究の対象となられた方で、自らのデータを本研究に使用してほしくないとお考えの方は、拒否することができます。下記、問い合わせ先にご連絡下さい。

大阪大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 副診療放射線技師長

日高 国幸(研究責任者)

TEL: 06-6879-6812

E-mail: hidaka@hp-rad.med.osaka-u.ac.jp